

* は学識者会議の事前資料での意見（発言以外）

広域地方計画策定のテーマ整理の一覧表

(資料) 運営会議, 知事会議, シンポジウム, 有識者アンケート調査, 学識者会議の意見を, 中間とりまとめで示されている計画の観点毎に整理したもの

※本資料は、各機関及び有識者等の意見をそのまま掲載しており、テーマのとりまとめの参考資料としている。

全国計画中間とりまとめにおける計画の観点	1. 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化への対応			2. グローバル化、東アジアとの経済連携、国際貢献			3. 都市及び産業の集積など経済成長を支えるエンジンの強化		
	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見
まとめ ・運営会議での意見 ・5県知事会・島根広島交流会議等（2県以上の会議）での意見 ・シンポジウムでの意見 ・有識者アンケート自由意見追記 ・学識者会議意見	①高齢者増加への対応 ・高齢者に対応した社会資本整備 ・高齢者の生活スタイルの変化への対応 ・人口構造の変化による医療分野の偏重の解消	・人口変化に対する社会・経済・環境への影響の予測による対応策の政策化 ・住宅施策と福祉施策の連携 ・多世代間交流の場づくり ・温暖な気候、自然の豊かさを活かした高齢者に住みやすいまちづくり ・医療・福祉の充実 ・中高年層の優秀な人材の活躍の場の提供	・少子高齢化に対応した先駆的なモデルづくり ・少子高齢化時代の明るく幸福な地域社会像の構築	①国際航空機能の強化 ・地方のポテンシャルを上げるための航空 ・広島空港の中国地方全体での活用 ・国際路線のある空港の相互活用			①中枢拠点都市圏の形成 ・広島、岡山・倉敷とともに、中海・宍道湖・大山圏域の中核拠点都市の形成 ・国際交流拠点の整備 ・上位都市としての機能整備 ・高次医療機関の配置 ・人的資本の質の向上	・都市機能の強化、快適な都市環境整備 ・投資の集中・拠点化 ・ユニークな知識、知恵を持ったリーダーシップ的人材育成 ＊山陰中枢都市圏整備 ＊広域的な中心地の計画的配置	・中核都市の持続的発展のための知的集約・人材確保
	②労働力の確保 ・高齢者の再雇用、再就職の確保 ・労働生産人口の減少による労働者不足	・外国人労働者、移民の受け入れ ・若者世代の非正規雇用の増加等の影響による15年後の社会不安の顕在化への対応		②国際物流拠点の形成、物流システムの円滑化 ・国際空港や港湾へのアクセス整備 ・東アジアをターゲットとした物流の強化、港湾整備 ・コンビナートの国際競争力強化	・山陰地方に日本海を通じた大陸との貿易施設整備	・グローバルマーケットを見据えた物流拠点化 ・静脈物流の拠点化（山陰地方に可能性がある）	②中核都市圏の充実 ・ブロックの発展をリードする国際的な工業等の集積及び都市機能の充実（鳥取、福山、下関、山口・防府、宇部・小野田、周南など）	・他都市とは異なる魅力づくり ・個性的な都市の整備 ・適正規模の中核都市の点在と情報・交通網の整備 ＊中核都市の都市機能の向上、周辺アクセスの向上	・現状では弱い中心都市の強化 ・中核都市の持続的発展のための知的集約
	③少子化対策 ・子育て支援事業			③国際交流・国際貢献の拡大 ・東アジア域内の人的、知的連携を量的拡大から質的向上へ転換 ・国際的な人的交流や文化交流の拡大 ・東アジアの環境悪化への貢献 ・国際交流拠点機能の充実	・近隣諸国との共生を重視した産業・人材づくり ・アジアにおける認知度の向上 ・中国・韓国のみならず、インドやブラジル等との関係の強化 ・外国人労働者、移民の受け入れ ＊アジア交流圏の拠点形成	・東アジアからのインバウンド観光	③中心市街地の充実・コンパクトシティづくり ・知のコンパクトシティ整備 ・中心市街地の活性化 ・「集約型都市構造への転換」を進めるための施策を行う下地として、住民の意識啓発を促す取組の強化	・利便性の高い公共交通網の整備 ・生活、経済、ビジネス空間の拠点化及び拠点の効率的連携 ・スポーツ・文化・商業等の施設の集積化、コンパクト化	・中心市街地の再生 ・都市の中心部と郊外部をつなぐ交通確保 ・公共空間の利用による魅力の向上、都市観光振興 ・コンパクトシティ論の射程範囲と妥当性の検討
	④人材育成 ・スピード感を持った人材育成施策の推進 ・首都圏に一極集中している人材の分散化 ・一極に集中した人材の地方分散と地方からの人材流出の防止	・ユニークな知識、知恵を持ったリーダーシップ的人材育成 ・中国地方の歴史・文化・資源等の教育による地域人の自信の創出 ・教育制度の改革・教育への注力 ・人口減少をプラスに生かせるチャンスととらえる	・担い手・人材の育成・確保 ・ソフト（人）の質的レベルアップ ・専門的な知識が必要な第三次産業の人材確保 ・国境を越えた他地域との連携（特に人材の確保について）	④国際的な経済連携（競争力のある産業育成、投資誘導） ・グローバル企業の育成	・日本海側での企業のグローバル化・国際化 ＊東アジアとの経済連携 ＊東アジアとの地域間ネットワーク構築	・中国（china）の中小都市との連携	④新産業の育成 ・次世代を担う産業クラスターの形成・連携による新産業創出 ・ベンチャー企業・研究開発支援 ・都市型サービス、環境・集客サービスの振興	・重工業から知識集約型産業への移行	・都市型サービス産業の集積化 ・ものづくりで儲けてサービスを買う開放的な現状の経済活動ではなく内発的な経済活動の推進 ・都市での観光、生活産業、6次産業などオルタナティブな産業の育成
	⑤新しいエイジングビジネス ・少子高齢化・人口減少時代を生きる知恵・技術			⑥企業立地の推進 ・戦略的な新規企業立地等を通じた地域産業活性化 ・対日投資促進のための外国企業誘致 ・BI施設（新事業支援施設）や工業用水の整備等ハード・ソフト両面での事業環境整備			⑤競争力のある産業の育成 ・高付加価値の国内産業育成 ・物流の効率化 ・技術力の流出、技術力の伝承 ・ものづくりクラスターの競争力強化 ・産業支援産業・創造的産業の育成 ・オンリーワン、ナンバーワン企業の支援	・山陽側の産業の効率化、高度化 ・都市の先端工業化 ・競争力のある製品の開発と生産拠点化・集積化 ・国際競争力のある産業を効率的に育成するには、瀬戸内海沿岸地方を中心とすべき ・大学の教育・研究機能を地域に置くことによる地域活性化、大学の知財を活用するシステムづくり ＊既存の産業基盤と知的集積の連携	・陶磁器やアニメなど「ものづくり産業」の維持とその高度化 ・人口減少社会における中国地方の特性を活かした生産性の高い業の育成・基盤整備 ・基盤的産業、先端的産業のてこ入れ

全国計画中間とりまとめにおける計画の観点	4. 地方中小都市や中山間地域の課題への対応						5. 情報通信技術の活用		
	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議での意見 ・5県知事会・島根広島交流会等（2県以上の会議）での意見 ・シンポジウムでの意見 ・有識者アンケート自由意見追記 ・学識者会議意見 	<p>①中山間地域対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の存在意義の明確化及び総合対策の充実強化 ・中山間地域を支える地方の中小都市対策 ・国土保全からの中山間地域の重要性の認識 ・食や災害防止等、安全な地域をつくる基盤となる中山間地域の意義づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部と中山間地域のバランスのとれた整備 ・地域間格差の解消 ・中山間地域の目的別投資（スポーツ町，文化町等） ・荒れた土地の管理 ・田舎であることを大切にす ・ロハス，スローフード，スローライフというステータスを確立する ・都市中心社会から農村中心社会へ ・*限界的集落，条件不利地域などに対する効率性と公平性のバランス検討 ・*中山間地域の保全に関する合意形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な国土形成のための積極的な農村の位置づけ ・GISデータの整備 ・守るべき個性（地元が見えていない価値もある）を核とした内発的発展 	<p>④生活サービスの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型の医療、福祉、介護サービスの充実・強化 ・公共交通利用者の減少傾向への対応 ・中山間地域や島嶼部の交通確保 ・生活圏の広域化をふまえた機能分担 ・中核都市やICまでのアクセス整備 ・地域拠点（総合サービスセンター）の設置推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の集積・コンパクト化 ・ある程度の強制力をもった拠点への人口集中，公共サービスの効率化 ・*「中国地方ミニマム」による税財源の確保と自己負担の必要性 ・*中山間地域の最低限のインフラ維持 ・*どこからでも緊急高度医療が受けられるシステムの構築 ・*地域医療・福祉と権利擁護のネットワーク構築 ・*中山間地域の医療・福祉サービスの基盤整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域，中核都市を支える中小都市の維持 ・分散型居住における拠点と交通ネットワークの見直し 	<p>①情報通信基盤の整備と適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロードバンド化の推進 ・地上デジタル放送の推進 ・情報セキュリティ対策の強化 ・ICT（情報通信技術）による安心安全の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信社会に対応した意識改革 ・安全安心社会を実現するための情報通信技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域・島嶼部へのブロードバンドの普及，教育現場での活用
	<p>②人材の定住促進・交流人口拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターンによる定住促進 ・都市と農山漁村の交流拡大、ツーリズムの展開 ・二地域居住の推進 ・都市のベッドタウンとして中山間地域を活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市型中山間地」（平日は都会で働き週末は中山間地域で農林業）というライフスタイルの普及 ・税制優遇による定住促進 ・地場産業の育成と企業誘致による定住促進 ・自然の豊かさを活かした，福祉施設・道路施設の整備などによる人口流入活性化 ・自然と調和した住みやすい地域へ ・定年後の退職者を受け入れる施策 ・多自然居住地域 ・交流人口の増加（市民が主体となった取組、既存の地域資源の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・都会からの流入を増やすための中山間地域の土地と人口の流動化の促進 ・自然や住環境を活かした「容（受け入れ）」の地域づくり ・住民生活に密着した生業としての観光業＝「新たな公」の創出 ・住みやすさを活かした交流拡大による中山間地域の自立 ・空間設計よりもどう過ごすかという時間設計 ・住民が豊かさを実感でき、観光客が行きたいと思う双方が楽しい観光の魅力づくり ・中山間地域と都市の交流の強化 	<p>⑤中山間地域の集落再編と持続可能な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業従事者の高齢化による耕作放棄地の増大への対応 ・中山間地域の集落協定・集落再編 ・中山間地域の里地・里山など多様な自然・生態系や農村景観の保全・再生・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の過疎化への対応 ・平地農村と島嶼部・山間地域の住み分け ・中山間地域の集積・コンパクト化 ・公的な社会資産としての山林・農地の管理システムの構築 ・ある程度の強制力をもった拠点への人口集中，公共サービスの効率化 ・*持続可能なコンパクトビレッジのモデル構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・山間地域は自然に戻すなどゾーニングによる各地域の役割の明確化 ・ダウンゾーニングなど持続可能なコンパクトな暮らしの実現 ・中山間地域の「むらおさめ」の検討 	<p>②IT社会における生活、文化の変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユビキタス・ビジネスの育成 ・ICT（情報通信技術）利活用の高制度化 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの充実 ・情報通信ネットワークの充実 ・高度情報化の網羅による都市と地方の一体化 	
	<p>③地域産業・循環型産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を高める地域産業の展開 ・地域資源を活用した観光振興等地域経済活性化 ・複数市町村圏で推進する地域産業活性化策 ・農林水産業の振興 ・小さな循環による経済資本 ・環境・ヒューマンサービスなど付加課長の高い産業育成 ・スロツーリズム、エコツーリズムなどの産業化 ・雇用・消費・物流の減少への対応 ・中国地域全体での循環型の地産地消システムの構築 ・特産品のブランド化 ・医療、福祉、介護関連産業の育成強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・農山村の経営への注力 ・数千人規模の企業誘致 ・バイオマスエネルギー活用 ・地方整備のための諸資源の傾斜配分 ・漁業などを衰退させない努力 ・土木・環境分野での技術革新・国際的競争力の強化 ・中山間地域の農山漁村で「暮らし続けていけること」への保障 	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消やツーリズムなど「現場」を活かした産業の振興 ・農林漁業を一次産業としてではなく体験・福祉など新たなサービス産業として立て直す ・サステイナブルな思想で国産材の利用促進及び国際戦略商品化 ・休養・保養など滞在型観光の推進 ・自立するために豊かな森林資源・海洋資源を生かした産業の育成・雇用の創出 ・余暇，健康，福祉など生活産業による経済発展 	<p>⑥地域文化の継承・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性と魅力ある地域の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生まれ育った人への自然遺産，伝統文化の継承，後継者育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化だけでなく現代アートなど新しい文化による文化力の向上 	<p>③情報通信システムの共同化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの充実 ・情報通信ネットワークの充実 ・高度情報化の網羅による都市と地方の一体化 		

全国計画中間とりまとめにおける計画の観点	6. 防災・環境問題への対応			7. ライフスタイルの多様化、新たな公を活かした地域活性化			8. 広域ブロックを単位とする取組		
	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見
まとめ ・運営会議での意見 ・5県知事会・島根広島交流会議等（2県以上の会議）での意見 ・シンポジウムでの意見 +有識者アンケート自由意見追記 +学識者会議意見	①災害への対応と安全な地域づくり ・災害の多様化 ・災害に強いまちづくり ・災害時のネットワーク ・氾濫域への人口資産の集中 ・危機管理の必要性、防災体制の充実 ・地域の特徴的な災害に対する社会基盤整備 ・安全・安心で穏やかな地域イメージの向上 ・台風通過地域としての防災充実 ・人口定着による国土保全及び災害時の危機管理体制の確立 *災害発生時の地域内支援システムの整備 *広域犯罪発生時の市民の安全確保			①官民協働の推進 ・NPOの設立の促進及び活動基盤強化のための支援 ・産・官・学の知恵を出し合ったまちづくり ・産官学の情報共有 ・地方分権の進展を機に官民の役割分担・協働の進展 ・中国地方としての一体感の醸成・県域を越えた各アクターの連携強化 ・「公」と「私」の見直しによる新たな協働と連携 ・ボランティア人材との協働			①広域観光の推進 ・世界遺産のネットワーク化 ・石見銀山への広域集客アクセス道の整備 ・瀬戸内海の観光振興 ・山陽側と山陰側を結ぶ広域観光ルートの開発 *観光資源の広域連携 ・資源に磨きをかけた山陰地方での魅力ある広域観光		
	②環境面からの持続可能性 ・水の安定確保 ・低環境負荷の都市内交通・都市間交通 ・開発・産業立地・観光等の社会経済施策における環境への配慮 ・自然環境の保全・活用 ・生物多様性の保全 ・二酸化炭素排出量削減の取り組み ・新エネルギーへの転換 ・広域リサイクルの推進 ・瀬戸内海の環境保全 ・水質改善、水循環の保全など流域・沿岸域管理 ・内海環境の保全 ・日本海沿岸や瀬戸内海、海ごみ（漂流・漂着・海底ごみ）の適正処理と発生抑制 ・循環型社会への転換、市民意識の変革 ・自然を重視した農本主義的パラダイムへの転換 ・都市部の渋滞問題の解消 ・路面電車の環境面からの再評価 ・環境低負荷の交通 ・中国山地の自然環境維持 ・食糧自給を目指す自立的生産・流通システムづくり ・地方都市の環境共生化＝里山の再生 ・地球・世界レベルで考える地球温暖化防止 *豊かな自然を楽しむための施設整備、景観・環境保全 *農山漁村・森林の維持手法の検討 ・瀬戸内海の環境保全、育成、継承 ・環境を考えて儲ける仕組みづくり ・持続可能性（サステナビリティ）とは何か、根本的な見直し *海洋環境の保全			②公共サービスの生産性、効率性の向上 ・公務員の再教育			②広域的な産業支援 ・環日本海、瀬戸内海の戦略的整備 ・県境を越えた産業集積群の支援 ・流域圏を活用した産業支援 ・経済（資金）循環の自立性の確保		
			③住民自治の推進 ・住民の生活を守る共生経済の確立 ・住民自治振興組織の支援 ・地域通貨、コミュニティ・バンキング、トラスト、免税・減税など財政支援 ・地域振興策における住民参加の推進 ・住民参加による計画の合理性の確保			③四国と連携した瀬戸内海の問題の対応 ・瀬戸内海創生構想の推進（世界遺産ネットワークなど） *四国地方との連携・本四架橋の有効利用			
			④他ブロックとの連携による競争力の向上 ・中国圏と九州圏の連携による国際競争力の向上 ・中国圏と近畿圏・四国圏・九州圏との連携、機能分担 ・中四国地区のスケールで広域地方計画の作成を検討する *地域間の連携・協力と環瀬戸内海交流圏の形成 ・他ブロックとの関係による経済循環とブロック内での経済循環の整理 ・海外を含めた他地域（他ブロック）との連携			⑤陰陽格差の是正 ・山陽と山陰の格差是正 ・山陰を前面に押し出した戦略 ・山陰の良い環境を活用した健康福祉都市の創設 ・山陰での新しい産業の育成による雇用の場の創出			
			⑥海洋利用 ・瀬戸内海の未利用資源の積極的活用			⑦広域自治体のあり方 ・地方分権改革の推進 ・広域都市圏の形成 ・県の壁を取り除いた道州制の実現 ・山陽と山陰の一体化 ・他のブロックとは異なる個性化 ・道州制による地域活性ビジョン策定努力 ・分散・ネットワーク型の将来像 ・地方自治体への権限委譲と財政面支援 ・機能分離も必要。例えば行政首都の新設など ・広島に中心を置かない。一体感が出てこない。地理的な中心に政治の中心を設けるべき。 *地方分権型社会における自立的地域の構築 ・分散的構造を活かした個性的な地域のネットワーク化 ・一体的なユニットとしての都市と中山間地域の機能分担			
			⑧広域道路網の整備 ・安定的な道路財源の確保 ・尾道松江線 ・山陰自動車道 ・山陰・山陽の分断を少なくする道路のインフラ整備 *地域間交通ネットワーク整備 ・山陰の高速交通ネットワークの整備 ・短時間で効果的な観光をすることにもつながる中山間地及び中小都市の交通ネットワーク			⑨研究機関の連携 ・教育研究機関の連携による高度情報技術の開発や人材育成			

全国計画中間とりまとめにおける計画の観点	9. 国土の総合的なマネジメント			10. その他テーマ（追加記入欄）		
	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見	意見まとめ	有識者アンケート追記	学識者会議意見
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議での意見 ・5県知事会・島根広島交流会議等（2県以上の会議）での意見 ・シンポジウムでの意見 +有識者アンケート自由意見追記 +学識者会議意見 	<p>①国土の質的向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本ストックの増加 <p>②土地の荒廃対策・国土の国民的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田畑、墓、山林など所有権の空洞化への対応 		<ul style="list-style-type: none"> ・居住の多様性の提供など大都市とは違った多様性の創出 ・所有が分散している山林の新しい所有の形の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・大型国家プロジェクト施設の誘致 ・計画の実効性の担保 ・原油高への対応 ・安定、ゆとりをもった社会への転換 	